

セッションVI

家族看護研究会の活動と今後の展望 — 家族看護研究会と病院の研修プログラムとの連携 —

新井陽子, 石川福江, 油谷和子, 松野時子, 高見紀子, 大塚 香, 村上育穂
(北里家族看護実践研究会)

1. はじめに

北里家族看護実践研究会(以下 研究会)は今年で10年目を迎える。これまで、当研究会は、臨床の看護師(CNSコース修了生含)と教員・大学院生が参加して事例検討会や家族看護セミナーを行い、臨床に家族看護を広め、実践できることを目標に活動してきた。このような活動の中、当研究会は、新たに病院の研修プログラムと連携し臨床の家族看護実践を支援することを試みた。このセッションは、当研究会の活動を報告し、家族看護研究会の活動と今後の展望について考えたい。

2. 当研究会の活動

○ 家族看護セミナーの開催

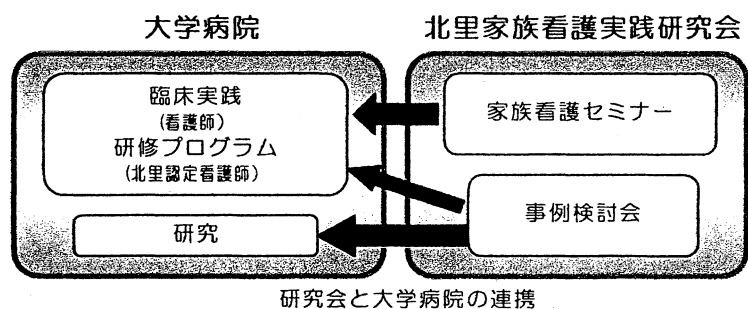
家族看護セミナーは、第1回は家族看護理論とアセスメント、第2回・第3回は家族への介入方法(小児の事例・成人の事例)の計3回、各回90分で構成している。対象者は、大学病院の看護師及び近隣病院の看護師、大学院生である。担当は、大学教員が家族看護理論とアセスメント及び介入技法の講義、CNSコース修了生と看護係長はグループワークのファシリテーターを担当している。

○ 事例検討会

毎月、事例検討会を開催している。事例は、臨床看護師が実際に対応に困っている事例を事例提供用紙に記入し提出してもらい、家族のアセスメント、関わり方、看護介入を検討する。また、検討した事例は、看護実践の結果を報告してもらい、看護実践と検討内容を評価している。

3. 当研究会と大学病院との連携

当研究会と臨床との連携は図に示した通りである。セミナーは臨床実践の支援、事例検討会は臨床実践と研究の支援を行っている。また、大学病院の継続教育プログラムにセミナーを組み込み、臨床看護実践能力、各専門看護領域を高めるための支援を行っている。



4. 当研究会の今後の活動予定

これまで、大学病院を中心に活動を行ってきた。しかし今年度より、近隣の病院にセミナーと事例検討会の案内を送付し、参加を募っている。これにより、地域病院における家族看護の普及と実践のサポートを行いたいと考えている。また、このような活動を通じて、大学病院と地域病院の連携に少しでも貢献できればと期待している。

5. 討論したいこと

当研究会は、臨床の家族看護を支援するため病院の教育プログラムとの連携を始めたところである。このセッションでは、当研究会の活動に対する皆さんの忌憚のないご意見をいただき、他施設の様子を伺いながら研究会の活動について情報交換を行いたい。そして、我々のような家族看護研究会が担う家族看護実践の支援と今後の展望についてディスカッションしたいと考えている。